

APU

RITSUMEIKAN
ASIA PACIFIC UNIVERSITY
BEPPU, JAPAN

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University



Global
Shaping your world view.



Creation
*If you can dream it,
you can do it.*



SHAPE YOUR WORLD

Future
*One today is
worth two tomorrows.*



Challenge
It always seems impossible until it's done.



2024年度
学部案内



Passion
Leading you to adventure.



Diversity
Accomplishing more together.



- 
- An aerial photograph of the APU campus in Seto, Japan. The campus features several large, modern buildings with red brick facades and dark roofs. A large, open green field, likely a sports field, is visible in the center. The campus is surrounded by lush green trees and a dense urban area in the background. The sea is visible in the upper right corner.
- 2 SHAPE YOUR WORLD
 - 3 数字で見るAPU
 - 5 APUの教育
 - 7 国際経営学部 (APM)
 - 9 アジア太平洋学部 (APS)
 - 11 サステナビリティ観光学部 (ST)
 - 13 科目特集
 - 15 科目一覧
 - 17 生活環境 (別府市)
 - 18 交換留学
 - 19 課外活動
 - 21 学生生活
 - 23 キャリア教育
 - 25 卒業生の声
 - 27 入学試験ガイド

全てのデータや統計情報は2023年度のもので、
環境に配慮してこの大学案内は再生紙で作られています。



SHAPE YOUR WORLD

FREEDOM, PEACE, HUMANITY.
INTERNATIONAL MUTUAL UNDERSTANDING.
THE FUTURE SHAPE OF THE ASIA PACIFIC REGION.

立命館アジア太平洋大学 (APU) は「自由・平和・ヒューマニティ」
「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として
2000年に開学し、真のグローバルリーダーの育成を目的として
これまでに無い全く新しい多文化学習環境を築いてきました。
開学以来、これまでに世界160を超える国・地域から学生が集い、
国や文化、宗教、政治、価値観等の違いを乗り越え、
共に暮らし、世界が直面する課題の解決のために学んでいます。

APU の学びの出発点は「世界」。
やがて世界を変える人になる、その一歩を踏み出しましょう。

APU BY THE NUMBERS

数字で見るAPU



NO.1

国際性

タイムズ・ハイヤー・エデュケーション
(THE世界大学ランキング日本版2023)



23

教員の出身国・地域数



46%

学生に占める留学生の割合



49%

国際教員





107

学生の出身国・地域数



全国 NO.1

外国人学生・教員比率

(QS世界大学ランキング2023)



NO.1

西日本私学総合

タイムズ・ハイヤー・エデュケーション
(THE世界大学ランキング日本版2023)



161

校友の出身国・地域数



98%

日英2言語での授業比率



94%

奨学金受給率

(2022年度入学者のうち
奨学金申請者が受給した割合)

EDUCATION THAT INSPIRES YOU

世界的にもユニークな教育環境

*Found my way
at APU!*

Karina Prittwitz (デンマーク)

APM 4回生

私はもともとビジネスを学んでみたいという気持ちがあり、商業系の高校に進学しましたが、日本文化や日本語についても深く学びたいと思っていました。そのため、その両方を学ぶことができるAPUは、私にとって理想的でした。さらに、他の大学にはない多文化環境に魅力を感じ、APUへ行くことを決めました。特定の文化だけではなく、多様な文化への適応力を身につけることは、グローバル社会、特に私が学んでいる経営学において重要なことだと思います。APUで感銘を受けたことはたくさんありますが、その中でも、学外の企業や高校生を交えた異文化交流プログラムに参加したことは貴重な経験でした。APUは、お互いの違いを深く知り、学び合い、共に成長できる場所だと思います。

学部教育

国際経営学部 (APM) 学士 (経営学)	学修分野 ・経営戦略・リーダーシップ ・マーケティング ・会計・ファイナンス ・アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント						
アジア太平洋学部 (APS) 学士 (アジア太平洋学)	・文化・社会・メディア ・グローバル経済 ・国際関係						
サステナビリティ観光学部 (ST) 学士 (サステナビリティ観光学)	コンセンストレーション <table border="1"> <tr> <td data-bbox="686 595 864 701"> 観光学分野* </td><td data-bbox="864 595 1203 701"> ・観光学 ・観光産業 ・ホスピタリティ産業 </td></tr> <tr> <td data-bbox="686 701 864 817"> 持続可能な社会分野* </td><td data-bbox="864 701 1203 817"> ・環境学 ・資源マネジメント ・国際開発 </td></tr> <tr> <td data-bbox="686 817 864 925"> 学部共通 </td><td data-bbox="864 817 1203 925"> ・地域づくり ・社会起業 ・データサイエンスと情報システム </td></tr> </table>	観光学分野*	・観光学 ・観光産業 ・ホスピタリティ産業	持続可能な社会分野*	・環境学 ・資源マネジメント ・国際開発	学部共通	・地域づくり ・社会起業 ・データサイエンスと情報システム
観光学分野*	・観光学 ・観光産業 ・ホスピタリティ産業						
持続可能な社会分野*	・環境学 ・資源マネジメント ・国際開発						
学部共通	・地域づくり ・社会起業 ・データサイエンスと情報システム						

卒業には4年間で124単位以上を修得する必要があります。

*STの学生は、卒業要件に基づき、「観光学分野」「持続可能な社会分野」の双方から10単位以上を修得する必要があります。

学びの場は世界へ

APUでは、これまで歩んできた人生も価値観も異なる学生と教員とが、対話型の授業を通じて世界が直面する複雑な課題について議論を交わし、そこで得た知識を社会で実践することを重視しています。また、フィールド・スタディや交換留学、国際会議、学術大会、地域交流やインターンシップへの参加等の実践型プログラムに積極的に参加することで、得た知識の専門性を高めます。

バイリンガルからマルチリンガルへ

APUは英語と日本語の両言語を習得できる環境を提供しています。日本語基準で入学した学生は英語科目が必修となっており、英語基準で入学した学生は日本語科目が必修となっています。さらに、APUではアジア太平洋言語科目 (中国語、韓国語、マレー語・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語) を開講しています。母国でも日本でも第三国でも役に立つ新たな言語を、APUの授業で身につけてください。

実践的な学び

数十年に渡り研究者の道を行ってきた教員や国際企業・団体での社会経験を有する教員など、国際社会での豊富な経験を持つ世界23カ国・地域出身の教員が在籍しています。あなたの周りで起こっている身近な社会課題について学び、理論と実践の双方を重視した授業を展開しています。

COLLEGE 3 INTERNATIONAL MANAGEMENT [APM]



BACHELOR OF BUSINESS ADMINISTRATION (BBA)

国際経営学部 (APM) 学士 (経営学)

APMは、多文化環境でのビジネスについての学習を通して、専門的な知識を養うだけでなく、個人としての成長もすることができる学部です。ビジネスに関する専門知識は、あなたがAPMで身につけられることの一部でしかなく、リーダーシップ、起業、国際的視野を身につけ、多様性を重視したインクルーシブなビジネスを通して、社会変革を生み出すことができるようになります。



学修分野

経営戦略・リーダーシップ

組織が発展し続けるためには、社会的ニーズに応じた目標の設定と目標達成のために一定の行動原理や方法に従って活動することが必要です。国際企業や家業の成功を目指す方に最適な学修分野です。

マーケティング

マーケティングコースではグローバル市場においてモノやサービスを生み出す手法を学びます。何を、どのくらい、いくらで、どのように提供すべきか。その理論や手法を学び、世界で活躍できる視野の広い企業人をめざします。

会計・ファイナンス

企業の状態はお金の流れや増減によって判断されます。これを会計といい、企業活動に必要な資金の調達方法や運用方法の分野をファイナンスといいます。会計・ファイナンスの国際通用性のある深い知識を学び、専門性を養っていきます。

アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント

ビジネスにおいて必要な創造性と実行力はとても重要です。新たな事業を始めるにあたって必要な知識や技術、その考え方を身につけ、将来自らの事業を持つのみでなく、既存の組織においても成長に寄与し、その運営を担える力を養います。

Business that leaves no one behind

学生の声

グローバルな ビジネスリーダーへの一歩

私は、APMで世界中の人々と学びながら、ビジネスや社会の問題を解決するためのリーダーシップ、アントレプレナーシップ、グローバルスキルを身につけることができました。また、様々なビジネスコンテストを通じて、学んだことを単なる知識に留めず、実際に課題解決に役立てる機会を得ることができました。また、文化的背景の異なる学生たちと学び、競い合った4年間は、多様性を尊重することの大切さや、世界の見方さえも変えてくれました。APMで様々な社会問題を解決する方法を学び、多様な分野で活躍するグローバルリーダーを目指しましょう！

*Dream big,
work hard!*



Yeeun Sohn
(韓国)
4回生

*Steady progress
to success!*

学生の声

確かな学びが世界を変える

APMでは、企業経営に関する幅広い知識を身につけることができます。1年次には、ファイナンス、経営戦略、そしてマーケティングなど、様々な分野の入門科目を学びます。ビジネス経験のない人でも各分野を明確に理解でき、自分の興味や能力を見極めることができるように構成されています。また、APMでは、全ての科目の関連性を重視しているため、自分が最も興味のある分野を見つけた後も、他の分野の科目を履修することが可能です。実践的な知識を身につけ、ビジネスの現場で活躍できる人材になりたいと思っています。

Israel Trivashe Chari
(ジンバブエ)

3回生

学部長の声

APMでは、魅力的で革新的な授業が展開されています。また、真にプロフェッショナルな学術背景を持つ多様な教授陣や、ビジネスや社会のあり方にポジティブなインパクトを生み出そうと意欲を燃やす学生同士のネットワークがあなたを待っています。創造的かつグローバルな視点でビジョンを描く仲間たちとの対話を通し、学問およびビジネスにおいて大きく成長していくことでしょう。

国際経営学部長

Lailani Laynesa Alcantara 教授 (フィリピン)

学位：博士（経営）、筑波大学



主な就職先

- アップルインターナショナル株式会社
- セールスフォース
- デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
- ステート ストリート
- 株式会社博報堂
- 株式会社三井住友銀行
- 日本貿易振興機構（ジェトロ）
- ローバート・ウォルターズ
- 株式会社野村総合研究所

等

主な進学先

- BIノルウェービジネススクール（ノルウェー）
- エジンバラ大学大学院（イギリス）
- マンチェスター大学大学院（イギリス）
- 東京大学大学院（日本）
- メルボルン大学大学院（オーストラリア）

等

COLLEGE of ASIA PACIFIC STUDIES [APS]

BACHELOR OF SOCIAL SCIENCE (BSocSc)

アジア太平洋学部 (APS) 学士 (アジア太平洋学)

国際社会におけるアジア太平洋地域の重要性は加速度的に増えています。変化が激しい現代において、アジア太平洋地域についての深い理解を有し、諸問題の解決に貢献できる人材は必要不可欠です。アジア太平洋地域の多様な政治、経済、社会、文化等を幅広く理解し、言語や情報技術、調査等の様々な手段を活用して複数の異なる分野を幅広く学びます。それらを通して、世界が直面する複雑な課題を解決する力を養います。



文化・社会・
メディア



グローバル経済



国際関係

集中

学びの基礎をつくる

文化・社会・メディア、グローバル経済、国際関係の3分野についてオンキャンパスを中心に座学で学びます。

拡散

実戦的に学ぶ

学内外をフィールドとして実践的な学びを深めます。(ワルシャワ大学との国際関係に特化した交換留学プログラムなど)

回遊

世界のフィールドで学びを深める

アジア太平洋地域を中心に世界をフィールドとして専攻分野についての学びを深めます。(IRインド太平洋回遊プログラムなど)

実践

実践力を養う

正課・正課外において国内外他大学との他流試合等を通して実践的な力を養います。(模擬国連、国際法ディベート大会など)

学修分野

文化・社会・メディア

アジア太平洋地域の社会・文化の成り立ち、文化的価値観やメディアについての学びを通じて、世界を俯瞰する視点やメディアについて基礎的な知識を身につけ、アジア太平洋地域が抱える諸問題について、様々な角度から理解する力を養います。また、集中と拡散を重視した地域研究・人類学・歴史学についての学外学習を通して、アジア太平洋地域での事象への理解を深めることができます。

グローバル経済

不平等、貧困、食糧危機、農業、自然、産業、環境問題、健康問題、デジタル化、これらの課題には全て経済的な観点が欠かせません。経済についての専門知識を身につけることで、経済に関わる諸問題についての理解を深めます。また、集中と回遊を重視した経済学・環境学・国際社会学に関する学外学習を組み合わせ、グローバルイゼーションの観点から経済を体験的に理解する機会を設けています。

国際関係

紛争解決・平和構築について考察を深め、複雑化する国際社会の問題解決に取り組む力を養います。国際法、政治学、経済学などを幅広く理解することで、国際関係、紛争解決、平和構築などの分野で必要な批判的思考、政策志向型のアプローチを学びます。また、回遊を重視した国際関係論と国際政治学に関する学外学習と組み合わせた学習を行うことができます。

Arm yourself with Knowledge

学生の声

多文化環境でグローバル社会を学ぶ

私は、異なる文化や伝統、そして、それがどのように社会を形成し、国際関係に影響を与えているのかということにずっと関心がありました。APSでは、知識豊富な先生方の講義や、異なるバックグラウンドを持つクラスメイトとのインタラクティブなディスカッションを通して、フェミニズム、人類学、グローバル問題、国際法など多くのことを学ぶことができました。特に、先生方や学生がそれぞれ文化的に異なる視点を持つことから、授業中のディスカッションは非常に活発で奥深いものでした。そうして学んだことを教室の外へ持ち出し、模擬裁判コンペティションやゼミなどの実践的な活動に活かすことができました。これは、間違いなく私の人生にとっても良い影響を与えてくれたと思います。



Maliha Mehnaz
(バングラデシュ)

3 年生



Joaquin Miralles
Zapata (ボリビア)

1 年生

学生の声

夢中になれるものを見つけよう！

APSには、入学後に3つの学修分野(文化・社会・メディア、グローバル経済、国際関係)から希望する分野の一つ選ぶことができる柔軟なカリキュラムがあります。私は、文化・社会・メディアを専攻したいと考えており、私の知らない価値観や文化背景を持つ先生やクラスメイトと共に学ぶことにわくわくしています。授業では、多くの考え方に会えることができ、刺激的で新しい学びを得られると期待しています。新たな発見に溢れたAPSでの学生生活をとても楽しみにしています。

学部長の声

APSは、世界が直面する様々な課題に対する斬新な解決策をみつけるために、ここでしか得られない知識や批判的思考力の修得を目指すラーニングコミュニティです。鋭い洞察力と分析スキル、多様な価値観への共感力を培い、自らを成功へと導くスキルと一生涯にわたる仲間を世界中に得ることができるでしょう。

アジア太平洋学部長
佐藤 洋一郎 教授(日本)

学位：博士(政治学)、ハワイ大学



主な就職先

- アクセンチュア株式会社
- AlphaSights
- アマゾンジャパン合同会社
- Apple Japan 合同会社
- 富士通株式会社
- 日本赤十字社
- ジェトロ
- 国際連合人権高等弁務官事務所
- パナソニック株式会社
- 世界銀行

等

主な進学先

- ハーバード大学大学院(アメリカ)
- 京都大学大学院(日本)
- オックスフォード大学大学院(イギリス)
- エジンバラ大学大学院(イギリス)
- メルボルン大学大学院(オーストラリア)

等

COLLEGE SUSTAINABILITY AND TOURISM [ST]



BACHELOR OF SUSTAINABILITY AND TOURISM

サステナビリティ観光学部 (ST)

学士 (サステナビリティ観光学)

サステナビリティ観光学部 (ST) では、地域の自然・歴史・文化の価値を発見し、保護しながら観光資源として磨き、グローバルゼーションの中の地域の持続可能な開発に貢献することができる人材を育てます。学生は様々な国や地域の社会問題に取り組み、100以上の国・地域から集まる学生とともに学び、SDGsの達成に資する能力を身に付けることができます。

持続可能な社会分野*



環境学

自然や社会、経済、教育の側面から学びの基礎となる環境学を深める。



資源マネジメント

循環型社会、エネルギー、気候変動を中心に社会における環境・資源の適切なマネジメントを学ぶ。



国際開発

社会学、人類学、経済学、政策学などの視点から、世界の貧困や開発問題を学ぶ。

学部共通



地域づくり

観光地を中心とした持続可能な開発や地域デザインについて学ぶ。



社会起業

社会課題を解決する NGO / NPO や社会的企業の経営、プロジェクトマネジメントなどについて学ぶ。



データサイエンスと情報システム

課題解決に必要な基礎的なデータ分析スキルやITスキルを身につけ、専門分野への応用を行う。

観光学分野*



観光学

経済、社会、歴史、文化などの側面から学びの基礎となる観光学を深める。



ホスピタリティ産業

ホテルやリゾートに焦点を当て、これからのサービス業のマネジメントについて学ぶ。



観光産業

観光を産業としてとらえ、観光産業の分析、観光における新製品の創出、マーケティング方法を学ぶ。

*STの学生は、卒業要件に基づき、「観光学分野」「持続可能な社会分野」の双方から10単位以上を修得することが必要です。

A sustainable future awaits

学生の声

地球課題に立ち向かう、 勇気ある人材へ

私は、APUで、サステナビリティ、生物多様性、環境経済と政策、さらに、持続可能な開発目標の達成へ向けた人材育成まで、幅広い分野を学ぶことができました。世界的な人口増加に伴い、観光業も世界有数の産業として認知が高まっていますが、APUはその一翼を担っています。APUには、学生が自ら参加でき、実践の機会を得られるキャンパス外でのプログラムがたくさんあるので、地球を変えるきっかけになりたいという人には、サステナビリティ観光学部はぴったりだと思います！

Let's go green!



Jeihan Beutari Chaili
(インドネシア)

4 回生

学生の声

APUで人生を変える旅を

私はAPUで、グローバルな視野で地域のサステナビリティに貢献しようと取り組むクリエイティブな学生にたくさん出会いました。そのような素晴らしい仲間や世界トップクラスの教授陣のもとで、私はこの数年、サステナビリティとエコツーリズムの分野を深く勉強してきました。その中で学んだ確かな研究手法と現場での持続可能な観光の実践に触発され、現在は湿地公園における環境保護活動に関する論文を執筆しています。STの横断的なカリキュラムを通じて、論理的・批判的な思考を身につけ、持続可能な社会の実現に貢献できる人材になれると信じています。STでの学びは、間違いなくみなさんにとって人生の財産となるでしょう。

Local power is
global power



Lyu Qinnuan
(中国)

3 回生

学部長の声

本学部は持続可能な社会の実現という最重要な課題、モビリティ社会における観光のインパクト、デジタルトランスフォーメーションなど、現代国際社会の「万变」に対応したカリキュラム設計になっており、学生は本学の多文化共生キャンパスで「不变を以て万变に応ず」人材として成長できます。

サステナビリティ観光学部長 李 燕 教授 (中国)

学位：博士 (工学)、京都大学



主な就職先

- 国際連合開発計画
- 日本航空株式会社
- 全日本空輸株式会社
- シンガポール航空
- 公益財団法人日本交通公社
- シェラトン・ホテルズ&リゾーツ
- 株式会社博報堂
- インターコンチネンタル
- デスティネーションアジアジャパン

等

主な進学先

- 京都大学大学院 (日本)
- 東京大学大学院 (日本)
- オーストラリア国立大学大学院 (オーストラリア)
- ロンドン大学大学院 (イギリス)
- パーミンガム大学大学院 (イギリス)

SUBJECT SHOWCASE

科目特集

APUには、ここでもしか受けられない
特徴的な授業がたくさんあります。
その一部をご紹介します！



共通教育科目

多文化協働ワークショップ

多文化協働ワークショップ (MCW) は、1 回生が全員受講する APU での学習にとって欠かせない知識、スキルを身につける授業です。キャンパス内の多文化環境を活かし、国内学生と国際学生が一緒になり様々な活動に取り組みます。異なる文化、価値観を持つ国内・国際学生が直接コミュニケーションをとり交流することを通じて、異文化理解力を高めることを目的としています。卒業後の国際的なキャリアの実現にきっと役立つことでしょう。

Willem Petrus Roux
(南アフリカ共和国)

学位：博士
(教授システム学)

Discover new culture



SECOND プログラム

国内学生と国際学生が合同で参加する約 2 週間の海外実習プログラムです。文化・価値観・言語が異なるメンバーとともに、異文化環境で課せられたミッションを遂行します。積極性や自信を身につけるとともに、高いレベルの異文化観察力を獲得し、調査研究の基礎を習得することを目指します。

動画も
見てね！



言語教育科目

APU の英語科目

APU には、大学での講義や海外プログラムへの参加、将来のキャリアに向けた準備など、英語力を養うための総合的な英語プログラムがあります。入学時に自分のレベルに合った英語コースを選択し、先生やクラスメイトと共に集中的に学習することで、一步步英語力を高めることができます。APU には、十分な訓練を受け、高いモチベーションを持つ語学教師がおり、いつでもみなさんの英語学習をサポートする態勢が整っています。ぜひ APU で忘れられない英語学習体験をしてください。

James Blackwell
(ニュージーランド)

学位：博士 (応用言語学)

Let's have fun
studying English!



アジア太平洋言語

APU では、アジア太平洋地域で使われている言語のうち 6 言語 (中国語、韓国語、マレー語・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語) を、入門レベルから上級レベルまで学習できる「アジア太平洋言語」教育科目を設けています。

動画も
見てね！





APM 専門教育科目

グローバルマネジメント (Capstone)

グローバルマネジメント (Capstone) は、APMの集大成となる科目です。APMで学んだ知識・スキルを総動員して、与えられた実際のプロジェクトに対し、国籍・専門も異なる学生がチームを組んで取り組みます。学生は、実在する企業を調査・分析し、その企業の経営課題に取り組み、解決策を提案した上で、その企業のCEOと面談を行います。

Reinvent business.
Be the change



**Pajaree
Ackaradejruangsri**
(タイ)

学位：博士
(アジア太平洋学)

グローバルビジネスケースチャレンジ

APUの学生が主体となり、国際的なビジネスケース大会「APUグローバルビジネスケースチャレンジ (GBCC)」を開催しています。本大会には、世界ランキングにランクインする優秀な大学から選ばれた学生たち約60名が一同に会します。

動画も
見てね!



APS 専門教育科目

専門演習／卒業研究

専門演習／卒業研究 (ゼミ) では、少人数のグループで深く掘り下げた議論を行い、研究プロジェクトに対するフィードバックを担当教員から直接受けられます。各ゼミは、経験豊富な教授陣によって独自に設計されています。例えば、私の学生は、国際法模擬裁判コンペティションやロールプレイの大会で、国内外を問わず活躍しています。

Explore and unlock
your potential



平野 実晴
(日本)

学位：博士 (総合生存学)

国際関係オナーズ・プログラム

このプログラムは、学修分野に「国際関係」を登録した上で、所定の要件を満たした学生にプログラム修了認定を行う制度です。この認定制度を通じ、学生に対して、個別性の高い指導を行う機会を拡大するとともに、国際理解・異文化理解を促進することを主な目的としています。

動画も
見てね!



ST 専門教育科目

公園と保護地域

国立公園や自然保護区などの保護地域は、環境政策の成果であり、保全に関する様々な理論的・実践的議論を代表するものです。この講義では、公園・保護地域の管理、計画、ゾーニング、そして、環境と社会経済への影響をモニタリングし緩和するための管理方法について紹介しています。

Preserve the environment
you love



Thomas E. Jones
(イギリス)

学位：博士
(農学生命科学)

フィールド・スタディ

サステナビリティ観光学部の教育は、国内外の現場での「課題解決型学習」を多く取り入れた実践重視の学びを大切にしています。持続可能な社会と観光に関わる専門理論とその実践力を併せ持つ、「社会のイノベーター」「観光コンテンツのプロデューサー」を育成します。

動画も
見てね!



SUBJECT LIST

科目一覧

APUでは、以下の科目が開講されています。
ただし、年度によって一部開講されない科目があります。

■ 共通教養科目

APUリテラシー

スチューデントサクセスワークショップ
多文化協働ワークショップ
平和・ヒューマニティ・民主主義
異文化間コミュニケーション入門
異文化フィールドワークI
異文化フィールドワークII
多文化比較論
グローバルリーダーシップの基礎
海外学習デザイン
ブリッジプログラム
アジア太平洋の言語
アジア太平洋の宗教
アジア太平洋の地理
アジア太平洋の文化と社会
アジア太平洋の歴史
日本の政治と社会
日本のポピュラーカルチャー
日本の歴史
日本国憲法
特殊講義 (日本学)
異文化間コミュニケーションの応用と実践
グローバルリーダーシップのためのスキルと実践
ソーシャルインパクトのためのグローバルリーダーシップ
茶道
華道
日本の伝統芸能

世界市民基盤

法学
心理学
生命倫理
AIと社会
西洋哲学
中国哲学
西洋美術
近現代の科学技術
ネグシエーションスキル
論理とクリティカルシンキング
キャリア形成のための自己分析
キャリア形成のための多様な視点
特殊講義 (共通教養科目)
ウェブデザイン
情報処理入門
プログラミング入門
情報リテラシー
ウェルネス
メディア制作ラボ
インターンシップ
キャリア形成のためのキャリア分野分析
AIとデータサイエンス
GIS入門
データベースシステム
特殊講義 (ICT)
情報システムプログラミング

学部専門入門

持続可能な開発入門*	メディア学入門	経済学入門
観光学入門*	国際関係論入門	基礎数学
政策学入門	比較政治学入門	統計学
社会学入門*	政治学入門	社会科学のための統計学*
文化・社会学入門	世界経済とグローバル課題	上級数学

*これらは、STの学びに強く関連する科目です。

■ 言語教育科目

日本語

日本語 (初級・中級・中上級・上級)
キャリア日本語
日本語・日本文化
日本語・日本社会
漢字・語彙スキルアップ
自己表現のための日本語
日本語コミュニケーションスキル

英語

英語 (初級・準中級・中級・準上級・上級)
英語ディスカッションとディベート
メディアのなかの英語
ジャーナリズムのための英語
ビジネス英語A
ホスピタリティ・観光の英語
英語コミュニケーション・スキル
ビジネス英語B
英語小説講読

AP言語

中国語 (I-III)
韓国語 (I-III)
マレー・インドネシア語 (I-III)
スペイン語 (I-III)
タイ語 (I-III)
ベトナム語 (I-III)
グローバルラーニング (中国語、韓国語、マレー・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語)

特定講義

英語検定試験対策講座I-III
TESOL
日本語教育のための日本語学
日本語教授法
アジア太平洋言語入門
集中言語研修
特殊講義 (言語教育科目)

■ APM 科目

必修科目

経営学入門
会計学I
金融論
組織行動論
ビジネスエシックスと社会的責任
マーケティング入門
ビジネス法務戦略
生産・オペレーションマネジメント
グローバルマネジメント (Capstone)

経営戦略・リーダーシップ

国際取引
アントレプレナーシップ
ファミリービジネス
サービスマネジメント
戦略分析と意思決定
組織行動論 (上級)
レスポンシブル・リーダーシップ
サステナブルビジネス
戦略的プロジェクトマネジメント
デジタルビジネストラנסフォーメーションのマネジメント
デジタル社会のブランドマネジメント
マーケティングとマネジメント 専門演習
マーケティングとマネジメント 上級セミナー
マーケティングとマネジメント 卒業プロジェクト
マーケティングとマネジメント 卒業論文
サプライ・チェーン・マネジメント
経営戦略論
国際物流論
経営戦略・リーダーシップ 特殊講義
人的資源管理論

マーケティング

製品開発論
デジタルマーケティング
価格戦略
ニューテックノロジーと未来社会
デザイン思考とイノベーション
国際マーケティング論
サービスマネジメント
観光地マーケティング
デジタルビジネストラנסフォーメーションのマネジメント
デジタル社会のブランドマネジメント
マーケティングとマネジメント 専門演習
マーケティングとマネジメント 上級セミナー
マーケティングとマネジメント 卒業プロジェクト
マーケティングとマネジメント 卒業論文
マーケティング・リサーチ
消費者行動論
サプライ・チェーン・マネジメント
販売・プロモーションマネジメント
国際物流論
マーケティング 特殊講義

会計・ファイナンス

コーポレート・ファイナンス
原価会計
財務会計論I
財務会計論II
上級会計
監査
金融市場と金融制度
国際金融論
国際会計
ファイナンスとテクノロジー
会計・ファイナンス 専門演習
管理会計論
金融デリバティブ
租税法
投資分析とポートフォリオ・マネジメント

APM 共通

ミクロ経済学	APMフィールド・スタディ	経営情報システム
マクロ経済学	ビッグデータ分析	ビジネスデータ分析
特殊講義 (APM専門)	アジア経済論	ビジネスケース分析・コミュニケーション
ビジネスインターンシップ	国際経済学	リサーチのデザインと方法

アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント

アントレプレナーシップ
製品開発論
システムモデリング
ニューテックノロジーと未来社会
ベンチャー アントレプレナーシップ
デザイン思考とイノベーション
技術経営
オペレーションズ・リサーチ
アントレ・オペレーションマネジメント 専門演習
イノベーションマネジメント
上級 ベンチャー アントレプレナーシップ
戦略的プロジェクトマネジメント
デジタルビジネストラנסフォーメーションのマネジメント
アントレ・オペレーションマネジメント 上級セミナー
アントレ・オペレーションマネジメント 卒業プロジェクト
アントレ・オペレーションマネジメント 卒業論文
サプライ・チェーン・マネジメント
ソーシャルアントレプレナーシップとチェンジメーカー
オペレーションマネジメント 特殊講義
アントレプレナーシップ 特殊講義

レベニュー・マネジメント

会計・ファイナンス 上級セミナー
会計・ファイナンス 卒業プロジェクト
会計・ファイナンス 卒業論文
会計II
会計 特殊講義
ファイナンス 特殊講義

■ APS 科目

文化・社会・メディア

社会学
国際社会学
社会学アドバンスド
社会理論
社会階層論
宗教と社会
教育と社会
言語と社会
環境と社会
フード・システムと社会
貧困とグローバリゼーション
グローバル化と地域主義
エスニシティと国民国家
多文化社会論
アイデンティティと政治
ジェンダー研究
文化人類学
カルチュラルスタディーズ
メディアと文化
メディアと法
メディアと歴史
メディアと政治
メディアと紛争
デジタル・テクノロジーと社会
ニューメディアと社会
グローバル・ヒストリー
交流の世界史
政治理論
人権論
平和学
人文学と近代
社会心理学
ビッグデータ分析

グローバル経済

社会階層論
国際社会学
文化人類学
ミクロ経済学
マクロ経済学
農業と資源
フード・システムと社会
環境と社会
グローバル経済分析
貧困とグローバリゼーション
計量経済学
ゲーム理論
国際協力論
開発政治論
アジア太平洋の比較政治経済
紛争と開発
プロジェクトマネジメント
エネルギーマネジメント
ビッグデータ分析
行動経済学・実験経済学
日本経済論
国際経済学
アジア経済論
開発経済学
産業生態学
環境コミュニケーション
グローバルヘルス経済学
アメリカ経済論
ヨーロッパ経済論
国際機構論
公共政策
国際政治経済学
特殊講義（アジア・中東・アフリカ経済事情）
国際金融論
環境経済学

コア科目

地域研究入門

国際関係

国際関係理論
国際協力論
人権論
政治理論
開発政治論
アジア太平洋の比較政治経済
国際政治史
国際法
国際問題と政策
紛争と開発
平和学
グローバル化と地域主義
アジア太平洋における国際関係
国際機構論
公共政策
国際政治経済学
アイデンティティと政治
冷戦後の紛争と地政学
暴力とテロリズム
グローバリゼーションと法
国際紛争解決
日本の外交政策
戦略分析と意思決定
エスニシティと国民国家
メディアと政治
メディアと紛争

APS 共通

特殊講義（専門教育科目）
APS フィールド・スタディ
地域研究
プロジェクト研究

演習

APS 研究作法
調査研究法
専門演習
卒業研究Ⅰ
卒業研究Ⅱ
卒業論文

一部の科目は、複数の学修分野にまたがっています。

■ ST 科目

観光学分野科目*

観光学
観光社会学
観光文化論
文化人類学
観光とメディア
遺産観光論
観光経済学

観光産業

ツーリズム・オペレーション
ヘルス&ウェルネスツーリズム
MICE 産業論
スペシャルインタレスト・ツーリズム
観光地マーケティング

ホスピタリティ産業

ホスピタリティ・オペレーション
フード&ビバレッジ・オペレーション
サービス・エクスペリエンス
リゾート・マーケティング
レベニュー・マネジメント

アカデミック・スキル

社会調査法入門
質的分析技法
文献講読Ⅰ
文献講読Ⅱ

持続可能な社会分野科目*

環境学

生物多様性
環境政策とガバナンス
環境経済学
環境教育
気候変動
環境と社会
公園と保護地域

資源マネジメント

環境汚染と防止
資源マネジメント
エネルギーマネジメント
循環型社会論
サステイナブルビジネス

国際開発

開発社会学・人類学
開発政治論
紛争と開発
国際開発協力
開発政策
開発と経済

演習・最終成果

専門演習
卒業研究
卒業プロジェクト
キャップストーン

学部共通科目

社会起業

会計入門
経営学入門
マーケティング入門
経営戦略
組織行動論
プロジェクトマネジメント
ソーシャルアントレプレナーシップ
NPO/NGO 論

地域づくり

レジリエント都市論
サステイナブル都市開発と計画
サステイナブルツーリズム
観光地開発と計画
農村開発と観光
都市デザイン
コミュニティ開発論

データサイエンスと情報システム

GISとリモートセンシング
インターネット技術とアプリケーション
ビッグデータ分析
システムモデリング
応用統計分析
ニューテクノロジーと未来社会

オフキャンパス・プログラム

専門実習
フィールド・スタディ
専門インターンシップ

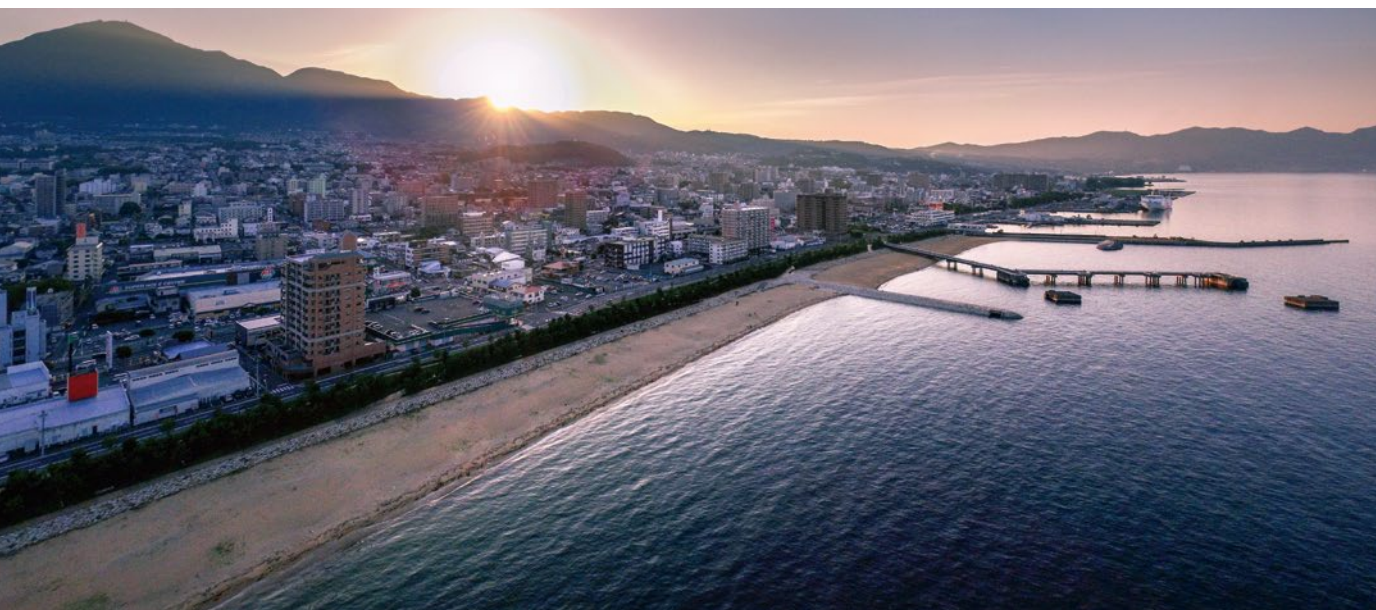
*STの学生は、卒業要件に基づき、「観光学分野科目」「持続可能な社会分野科目」の双方から10単位以上を修得する必要があります。

SETTLING IN A NEW HOME

心から落ち着ける街

国際観光文化都市、別府

日本列島の南に位置する九州の海沿いの町「別府」にAPUはあります。別府市は、日本の伝統文化が今も残る町並み、そして世界有数の温泉地として知られ、国内外から多くの観光客が集う一大観光地となっています。また、別府は国内外のその他の都市と比較しても安全で、生活費を安く抑えることができるため、留学には最適な環境です。また、日本では「資格外活動許可証」を取得することで、授業期間中は週28時間（長期休暇中は週40時間）まで働くことができます。アルバイトでは収入を得られるだけでなく、日本企業のサービスやおもてなしの精神を学ぶこともできます。



数字で見る別府市

113,476

別府市人口

4,396

外国人人口

2,854

源泉数

約62万

外国人観光客数（2019年）

NO.1 NO.2

日本第1位、世界第2位の
温泉湧出量

年間平均気温

1月

5°C / 41°F

4月

14°C / 57°F

7月

28°C / 82°F

10月

20°C / 68°F

BROADEN YOUR HORIZONS

視野を広げる



私は交換留学を通して、フランスの文化やライフスタイルに深く浸ることができました。留学先の大学では、フランス料理のテイastingツアーが組み込まれた「フランス料理と観光」というコースを受講しました。フランスの各地域の料理について学び、授業ではその地域の伝統菓子やチョコレートを試食しました。料理に関するコースを受講するのは初めてだったので、とても思い出に残る学びを得られました。

To Ngoc Minh Thi
(ベトナム)



エクセリアグループ(フランス)
2022 - 2023

エクセリアビジネススクールは、エクセリアグループの経営学部および研究科で、学士過程と修士課程を提供しています。この学校はAACSBとEPAS(経営学修士グランドゼコールとBBAプログラム)の両方の認定を受けています。

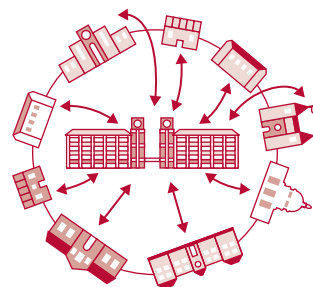
世界で学ぶという選択肢

APUが学生交換協定を締結している45カ国・地域、155の国内外の大学へ学習目的に合わせて1年間または半年間の留学ができます。また、授業料減免は留学中にも継続されるため安心です。

4年間で2つの学位を取得

APUでの2年間の学びに加えて、派遣先大学へ2年間留学することで、両方の大学の学位を取得し、卒業することが可能です。

- APMダブルディグリープログラム：ネオマ・ビジネス・スクール(フランス)
- APSダブルディグリープログラム：セント・エドワーズ大学(アメリカ)
- STダブルディグリープログラム：ザルツブルク応用科学大学(オーストラリア)



155 交換留学協定学校数
校 45 カ国・地域

A CAMPUS IS NO OTHER

ここでしか経験できない日々

課外活動

APUでは、スポーツ、文化、ボランティアなど、学生一人ひとりが自分の好きなクラブを作り、参加することができます。それぞれのクラブは、APUのビジョンである「多様性に富み、誰もが活躍できる場」を提供しており、APUのアイデンティティの大きな部分を占めています。

APUの課外活動について
もっと知りたい方はこちらへ! ▶



Sports

Pushing your limits



ラグビー部



サッカーを通じた異文化交流

Morris Gichuki Njeru (ケニア)

サッカー部に入った当初は、トーナメントでプレーすることや勝負に勝つことだけを考えていました。しかし、チームで活動するにつれて、APUのサッカー部には、団結力と兄弟愛があることに気づきました。ここでのサッカーは単なるスポーツではありません。例えば、私が英語で話すと、チームメイトは日本語で返してくれます。私のチームでは、試合の勝ち負けよりも、どのようにプレーするか、どのように進歩するか、そして何よりも楽しむことを大切にしています。



サッカー部



クリケットクラブ



ラクロス部



フットサルクラブ



剣道部

Culture

Defining who you are



インドネシアウィーク



オセアニアウィーク



ベトナムウィーク



台湾ウィーク



コリアンウィーク



ファッションウィーク



APUにしかない文化交流

Namira Ayumi Zahra (インドネシア)

「マルチカルチュラル・ウィーク」は、パフォーマンスや料理、ゲームを通して異文化に触れることができる素晴らしい機会です。私はダンサーとしてこのイベントに参加したのですが、他の国の伝統的な踊りやポップソングを知ることができ、とても楽しかったです。そして、世界中の人々に囲まれて、大切な日を迎える準備期間は、私にとってかけがえのない時間でした。他の国の美味しいお菓子を試食したり、違う言語の面白いフレーズを覚えたりするのも楽しかったです。マルチカルチュラル・ウィークは最高のイベントです。

Volunteer

Making a change



ECOS



Habitat APU



Martha Mission for Africa



Project Gifted



PRENGO



SUPPORT FOR SISTERS



小さな命を守る

Yee Ong (マレーシア)

APUには、国内外で活動する様々なボランティアサークルがあります。その中でも私は、アニマルボランティアクラブに入っています。このクラブでは、動物保護施設でボランティアを行ったり、キャンパス内の猫の世話・管理をしています。APUでは、迷子になっている間に怪我をしたり、病気になったりしている猫が多いんです。猫を適切に管理することで、猫にとっても人にとっても快適な環境を維持できることが、私のボランティア活動へのモチベーションになっています。

YOUR HOME AWAY FROM HOME

充実の学生生活をサポート

美しい自然に囲まれた山の上に位置するAPUのキャンパスからは、別府の街と海岸線が見渡せます。この素晴らしい景色から、みなさんの胸躍るキャンパスライフがスタートします。

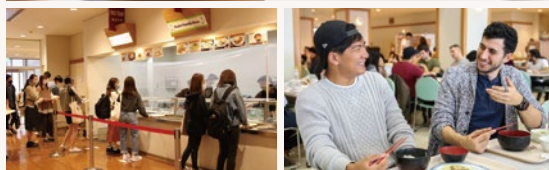
PICKUP

1

APU カフェテリア

食事だけではない経験を

APUのカフェテリアは、1年を通じて様々な国や地域の料理が食べられる国際色豊かな食堂です。「マルチカルチュラル・ウィーク」という自分の国や地域を紹介するイベントの時期には、週替わりで各国の料理を楽しむことができます。またここは、単なる食事の場にとどまらない、様々な活動を生み出す空間になっています。一歩中に入ると、世界中の料理を食べながら友人と他愛のない時間を過ごす人や、グループワークの課題に取り組む人などが見えてきます。そんな空間がキャンパスの中心にあり、朝から夜まで利用できるため、とても便利です。



PICKUP

2

SALC (言語自主学习センター)

SALC (言語自主学习センター) は、あらゆるレベルの語学学習者を幅広くサポートする施設です。SALCに用意されたテキストで自習したり、個室でリスニング練習をしたり、個別指導を受けたりすることができます。さらに、映画鑑賞会やオープンチャットスペース、イベントなど、楽しみながら語学を学べる機会が充実しています。



PICKUP

3

グリーンcommons

新棟「グリーンcommons」は、グループワークやプレゼンテーションに最適なスペースと、様々な共有スペースを備えています。教室の内外を問わず、学生同士の交流を促し、パブリックスペースとして開放することで、大学と地域社会をつなぐハブとなることを目指します。また、中央部は環境に配慮し、木造で構成されています。





PICKUP 4 APハウス

異文化理解が日常になる学生寮

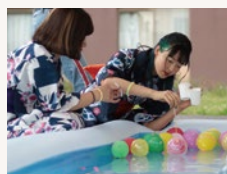
学生寮APハウスは、世界中から集まった仲間たちと日常生活を通じて世界の文化や言語を互いに学べる他には類のない学生寮です。さらに各階に居住するRA (Resident Assistant) がAPハウスで生活していく上で必要な習慣やルールを教えてくれるため、日本での新生活を始めるのに最適な環境です。

居室の間取り

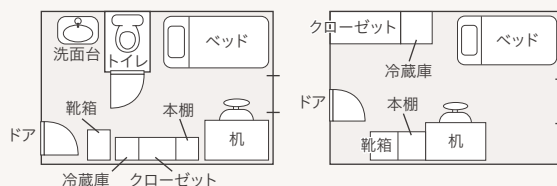
全室に家具が備わっています。APハウス5への入寮を希望する場合は、早期に出願する必要があります。



APハウスキッチン



APハウス1&2



APハウス5



APハウスの統計情報

APハウス1&2

1,205

個室数

APハウス5

240

48

共同キッチン数

寮費(光熱費含む)

50,000円/月

APハウス1&2

52,000円/月

APハウス5

一部、変更になる場合があります。

APハウスの設備

- シャワーブース
- 共同浴場
- コンピュータールーム
- 学習室
- 購買
- 24時間警備
- ビリヤード等の娯楽設備
- バスケットボールコート
- 空調
- 全ての居室でWi-Fi利用可能

Residence Assistance (RA's)
are here to help you
transition to Japan!



CAREER SUPPORT in APU

世界へと踏み出す時

*Creating a
Brighter Tomorrow*

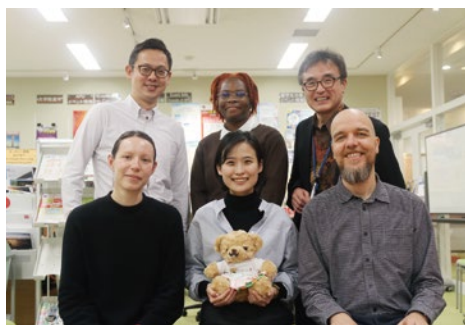


キャリア・オフィスは、国内・国際学生が大学院への進学や就職など、希望する進路に進むための支援を行っています。キャリア・オフィスでは、毎semester、就職活動時の心構えや準備などについてガイダンスを開催しています。キャリア・オフィスが行う大きなイベントのひとつに、「オンキャンパス・リクルーティング」があります。このイベントでは、APUの学生の可能性に期待する日本全国の企業がキャンパスに集まり、説明会や一次選考を行います。また、長期休暇を利用して、キャリア・オ

フィスが実施するインターンシップに参加することも可能です。そして、**キャリア・オフィスの最大の強みは、英語または日本語による学生との1対1の個別相談を実施している点です。**個別相談では、就職活動に関するアドバイス、履歴書の指導、模擬面接などを受けられます。ぜひ早い段階から相談に来てください。早すぎるということはないので、気軽にキャリアオフィスに足を運んで、自分の将来に向けて備えましょう！

明るい未来へ

大学はゴールではなく、人生という旅の始まりです。キャリア・オフィスはみなさんの一歩をサポートします。さて、みなさんは良いキャリアを築くコツは何だと思いますか？ある研究によると、その近道は、実りある大学生活を送ることであることが証明されています。つまり、大学生活を充実させることが、キャリアを充実させるという方程式があるのです。1回生のうちから、キャリア・オフィスの多国籍なスタッフを訪ねて、良いスタートを切ってください。私たちは、いつでもみなさんの味方です。

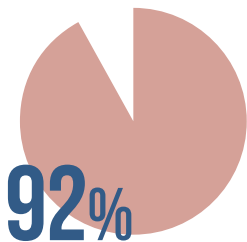


What Alumni gained through APU?

卒業生がAPUで得たものは？

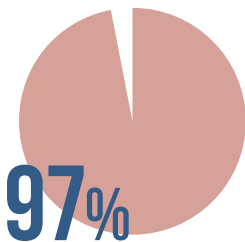
(卒業時アンケートに基づく)

語学力



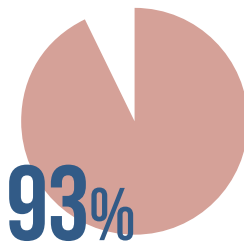
語学力が向上した
と答えた割合

国際感覚



国際感覚を養うことができた
と答えた割合

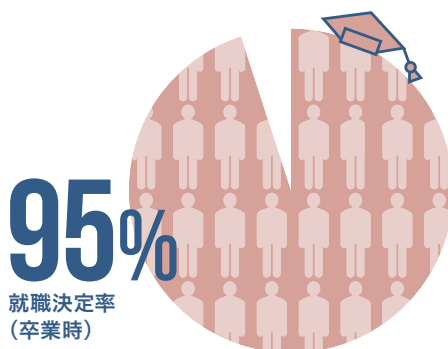
専門知識



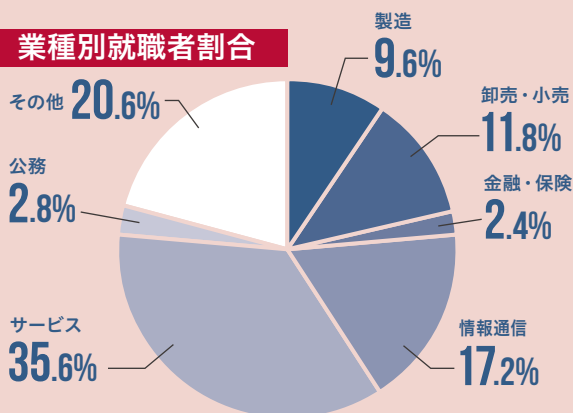
専門知識を深めることができた
と答えた割合

人生の岐路に立つ

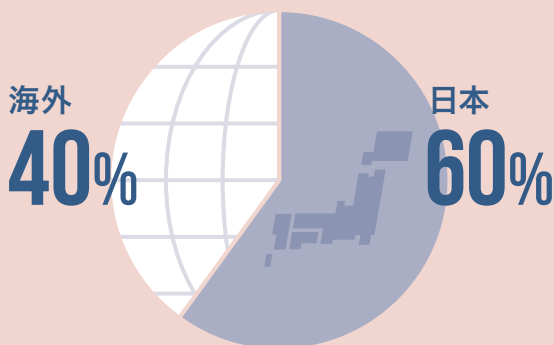
高い言語運用能力や知識を身に付け、様々な経験を積んだあなたは、APU卒業時には世界中で通用するグローバル人材になっていることでしょう。APUでは、国内外から年間200社以上の企業・団体が来学し、会社説明会や面接など一連の採用活動をキャンパスで実施しているため、大学にいながらにして就職活動ができます。また、就職をはじめ世界中の大学院へ進学をしたり、日本や海外で起業したりする学生も少なくありません。



業種別就職者割合



地域別就職率 (海外 VS 日本)



主な就職先

- アマゾンジャパン合同会社
- デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
- パナソニック株式会社
- Apple Japan 合同会社
- シェラトン・ホテルズ&リゾーツ
- コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
- 株式会社みずほフィナンシャルグループ
- 国際連合
- ブルームバーグ L.P.
- ユニリーバ・ジャパン株式会社
- ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社

等

主な進学先

- オックスフォード大学大学院 (イギリス)
- ハーバード大学大学院 (アメリカ)
- ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス大学院 (イギリス)
- ワシントン大学大学院 (アメリカ)
- メルボルン大学大学院 (オーストラリア)
- 東京大学大学院 (日本)
- プリティッシュコロンビア大学大学院 (カナダ)
- 南洋理工学大学院 (シンガポール)

等

ALUMNI JOURNEYS 卒業生の声

APU

外資系企業に勤務

現状に満足せず、一步踏み出す勇気を

現在の仕事では、海外にいるチームメンバーと連携して効率的に業務を進める必要があります。また、APUで培った多文化適応能力や対人能力がとても役立っています。また、APUで習得した日本語を日々活用して、日本国内のクライアントにカスタマーサービスを提供しています。APUでは、キャンパスの外に出て現場を経験できる機会が多く、卒業後に直面するグローバルな競争や現実をより理解することができました。

Radoslav Tsvetanov Tsvetkov (ブルガリア)
APM 2020年卒業 居住地:日本



From APU to Now



During APU



1回生～2回生

オナーズプログラムやFLAG (Fellow Advisory Group) に参加して、APハウスやオリエンテーションで新入生をサポートしました。また、複数の科目でティーチングアシスタントを務め、キャンパス内での活動に積極的に参加しました。こうした学業や課外活動への取り組みが評価され、安藤百福名誉博士奨励賞を受賞しました。

3回生～4回生

グアテマラで飲料水を提供するボランティアプロジェクトを企画・実施しました。また、日本語能力をさらに向上させ、日本語能力試験N1レベルを取得しました。さらに、CFA協会リサーチチャレンジ国内大会(東京)、BGSグローバルリーダーシップサミット(シカゴ)という2つの大きな学外イベントにAPUを代表して参加しました。

卒業後

現在は、マーケットデータアナリストとして、ブルームバーグで働いています。大学卒業後、社会に出てから、「完璧を目指すよりもまず終わらせろ」ということを痛感しました。そのため、仕事の効率を上げると同時に、自己成長にも力を注ぐようになりました。

APU

ベトナムで俳優に

APUからの旅は、無限大

APUでのベトナム人の友人との出会いが、私の人生のターニングポイントでした。彼女は、共に過ごす時間や活動全てを通して、人生を楽しむための主体的な選択を示してくれました。それまでは、ベトナムに住むとは想像もしていませんでしたが、APUのおかげで人生の選択肢を広げることができました。だから私は、ベトナムで最も成功した日本人インフルエンサーの一人として、今ここにいられるのです。

中谷 茜理 (日本)
APS 2016年卒業 居住地:ベトナム



From APU to Now



During APU



1回生～2回生

FIRST (Freshman Intercultural Relations Study Trip)、マルチカルチュラル・ウィーク、タイでのボランティアなど、様々なプログラムや活動に参加しました。また、合気道部でベトナム人の友人と出会い、春休みには初めてベトナムを訪れました。

3回生～4回生

農園やベトナム料理のイベントのボランティアに参加しました。また、ベトナム語の勉強を始め、小さなベトナム料理店を開業し、ベトナムに強い縁を感じるようになりました。進路に悩むこともありましたが、主体的に生きるとは何かを知りました。

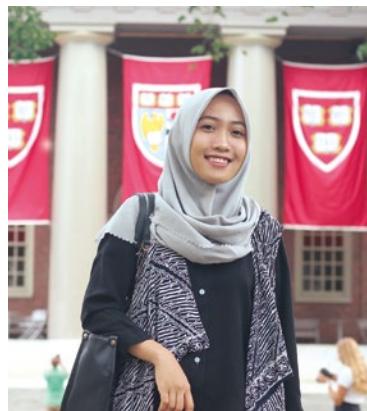
卒業後

ベトナムに移住し、「aNcari Room」というYouTubeチャンネルを立ち上げました。また、演技にも挑戦し、ベトナムの2022年BlueStar Awardsで「Best Supporting Actress」トップ3にノミネートされました。海外での生活は簡単ではありませんが、APUで出会った友人に支えられながら、私だけのキャリアを歩むことができています。

ハーバード大学 大学院卒業後、 教育コンサルタントに

APUでの学びが、私を政策立案、難民教育、幼児教育の道へ導いてくれました。私の学修分野は国際関係だったのですが、APUの横断的なカリキュラムにより様々な分野の科目を学ぶことができました。コア科目では、教育を通じて世界平和を実現する方法について理解を深め、同時にミクロ経済学で、教育が人的資本の向上と経済成長に不可欠であることを学びました。

Indah Shafira Zata Dini (インドネシア)
APS 2019年卒業 居住地：インドネシア



From APU to Now



During APU

1回生～2回生

FIRST (Freshman Intercultural Relations Study Trip)に参加しました。そして、意欲的な学生に贈られる賞とAPU 校友会奨学金を授与されました。また、アルバイトで先生として働き始めたことで、教育や子供の発達に関心を持つようになりました。

3回生～4回生

メキシコのモンテレイ大学へ留学しました。また、アメリカのニューヨーク国連本部でインターンをしました。そして、卒業生総代となり、ハーバード大学大学院の教育学部で国際教育政策を学ぶチャンスを得ました。



Now

卒業後

現在は、インドネシアの国際政府機関(IGO)の一つで教育コンサルタントとして働いています。そこで、インドネシア政府や東アジア太平洋地域の関係者が関わる研究プロジェクトに、技術的・分析的なサポートを行っています。

Learning in Motion

私にとってAPUは、映像制作で自己表現をすることの素晴らしさを教えてくれ、人との繋がりを作ってくれた大切な場所です。APUで様々な国籍の人と協働した経験により、幅広い視野を持つことができました。私の人生のターニングポイントは、APUのプロモーションビデオを制作したことです。この経験を通して学外の様々な方のサポートをいただき、映像制作会社「STEQQI」を設立することができました。

Watcharainthorn Khamkerd (タイ)
APS 2018年卒業 居住地：日本



From APU to Now



During APU

1回生～2回生

「大分県PR動画コンテスト2014」に応募し、準優勝しました。また、APUのアドミッションズ・オフィスでビデオグラファーとしてアルバイトを始め、ソーシャルメディアユニットの初代メンバーとして活躍しました。そして、「大分県PR動画コンテスト2015」で優勝しました。

3回生～4回生

「Learning in Motion」というタイトルのAPUのプロモーションビデオを制作しました。撮影に1年、編集に3か月かかりました。そして、プロモーションビデオ公開から6ヶ月後に「STEQQI」という映像制作会社を設立しました。



Now

卒業後

国内外のクライアントへ映像コンテンツの提供を行う映像制作会社の創業者の一人として、日本中を旅し、多くの人に出会い、一生に一度も見ることができないような素晴らしい景色を見ることができています。



FEES & SCHOLARSHIPS

費用・奨学金

入学1年目に必要な費用*

	1回生新入学	2回生編入学・ 転入学	3回生編入学・ 転入学
標準修業年限	4年	3年	2年
入学金	200,000円 (1,471 USドル)	200,000円 (1,471 USドル)	200,000円 (1,471 USドル)
授業料	1,300,000円 (9,559 USドル)	1,500,000円 (11,029 USドル)	1,500,000円 (11,029 USドル)
住宅補償料・保険料	17,540円 (129 USドル)	13,400円 (99 USドル)	9,250円 (68 USドル)
APハウスの入寮に かかる前納金	234,000円 (1,721 USドル)		
APハウスの寮費 (月額)	50,000円 (APハウス 1 & 2) / 52,000円 (APハウス 5) (368 USドル (APハウス 1 & 2) / 382 USドル (APハウス 5))		

* 金額は変更になることがあります。

上表に記載の US ドル表示はあくまでも参考です (1ドル136円計算)。

奨学金

APU 授業料減免

4年間 (標準修業年限) の修学に適用される独自の授業料減免制度 (年間授業料額の30%、50%、65%、80%、100% を減免) です。その他、入学後に優秀な成績を修めた学生や在学中に自主活動で成果を上げた学生を対象とした奨学金制度もあります。

年間授業料

減免率	1回生	2・3回生 (編入学・転入学を含む)	4回生
100%	0円	0円	0円
80%	260,000円	300,000円	300,000円
65%	455,000円	525,000円	525,000円
50%	650,000円	750,000円	750,000円
30%	910,000円	1,050,000円	1,050,000円

APハウスグローバルコミュニティ奨学金

寮 (APハウス) の家賃 (11か月分) を全額減免する制度です。希望者は、次項に記載の締切日までに出席を完了してください。

生活費

上表に記載の寮費を含めて、日本での生活には月額約83,000円 (約610 USドル) が必要です。これを入学のための経費支弁の目安としていますが、実際の生活費は、個々によって異なる場合があります。



APPLY TO APU

出願方法

APPLICATION PERIOD

2024年4月入学：

2023年6月1日(木)～2023年10月11日(水)

APハウス奨学金締切：2023年9月20日(水)

2024年9月入学：

2023年8月31日(木)～2024年3月19日(火)

APハウス奨学金締切：2023年12月20日(水)

日本、中国、インド、インドネシア、韓国、タイ、ベトナムに居住する志願者には、上記日程以外の試験日程を設定しています。詳しくはアドミッションズサイトまたは入学試験要項を確認してください。

編転入・転入学を希望する場合、出願期間・提出書類等が異なりますので、アドミッションズサイトで確認してください。

admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/transfer_students/

出願資格

学歴：

1 回生新入学：通常の課程による12年の学校教育を修了した者または修了見込みの者

編入学・転入学：通常の課程による13年もしくは14年の学校教育を修了した者または修了見込みの者

通常の過程が11年の場合でも、出願資格(学歴)を満たす場合があります。詳細は、アドミッションズサイトで確認してください。

言語能力の最低基準：

試験	1 回生新入学	編入学・転入学
IELTS	6.0 ^{*1}	6.5 ^{*2}
TOEFL iBT® Test ^{*3}	75	85
TOEIC® L&R Test ^{*3}	750	800
Cambridge English Language Assessment	169	176
PTE Academic	50	58
英検	準1級	1級
Duolingo English Test (2024年4月・9月入学より適用)	後日発表 ^{*4}	後日発表 ^{*4}

^{*1} かつ各項目が5.5以上であること。

^{*2} かつ各項目が6.0以上であること。

^{*3} TOEIC、TOEFL、TOEFL iBT and TOEFL ITPはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。
この印刷物はETSの検討を受けまたその承認を得たものではありません。

^{*4} 2023年5月以降にアドミッションズサイトにて発表します。

試験	1 回生新入学	編入学・転入学
JLPT N1	100	110
JLPT N2	120	140
EJU (日本語)	聴解・聴読解、読解250点 記述30点	聴解・聴読解、読解280点 記述35点

出願資格の詳細は、アドミッションズサイトで確認してください。

https://admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/

出願手順

APUオンライン出願システムにて出願をしてください。アカウント作成後、必要な情報をすべてシステム内に入力、書類をアップロードします。入学検定料の支払い及びオンラインアセスメントの受験をもって出願が完了します。

admissions.apu.ac.jp/apply_online





APU海外事務所

中国

Ritsumeikan Liaison Office –
Shanghai Jiao Tong University 301-CD, 3F Shentong Xinxi
Guangchang, No. 55, Huaihai West Rd.
Shanghai City 200030 China
Tel: +86-21-6283-5104
Email: apuchina@apu.ac.jp

インドネシア

APU Indonesia Information Center
C/O MARQUEE, Mayapada Tower I, 11th Floor, Jl.Jend.
Sudirman Kav. 28 Jakarta 12920 Indonesia
Tel: +62-21-5289-7328/7392
Email: apu-ina@apu.ac.jp

韓国

APU Korea Office
#608, Halla Classic Officetel 6th Floor, 23 Gangnam Daero
84 Gil, Gangnam-gu, Seoul 06233 Korea
Tel: +82-2-564-3425/3426
Email: hello@ritsapu-kr.com

台湾

APU Taiwan Office
8F, No.560, Sec.4, Zhongxiao E. Rd.,
Xinyi Dist., Taipei City 110, Taiwan
Tel: +886-2-7718-8685
Email: taipei@apu.ac.jp

タイ

APU Thailand Office
Room 1015, 10th Floor, Serm-Mit Tower 159/16 Soi Asoke,
Sukhumvit 21 Road Wattana, Bangkok 10110 Thailand
Tel/Fax: +66-2-665-7145
Email: thailand@apu.ac.jp

ベトナム

APU Viet Nam Office
145A Phao Dai Lang Street,
Dong Da Ward, Hanoi, Viet Nam
Tel: +84-24-3203-2063
Hotline: +84-981-32-6432
Email: vietnam@apu.ac.jp

お問い合わせ

APUアドミッションズ・オフィス
〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
Tel: +81-977-78-1200 (日本語対応)
+81-977-78-1119 (英語対応)
admissions.apu.ac.jp
admissions.apu.ac.jp/contact_us

Ritsumeikan.APU
 APUAdmissionsOffice
 ritsumeikanapu
 ritsumeikanapu



バーチャルツアーは
こちらから！

連絡窓口

香港・マカオ

Mr. Daniel Smiley
Tel: +852-6858-5902
Email: smileyd@apu.ac.jp

インド(北部・東部)

Ms. Deepti Singh Ritsumeikan APU Delhi Office
18A103 WeWork, Berger Delhi One,
19th Floor, Sector 16B,
Noida Uttar Pradesh 201301, India
Tel: +91-73037-86004
Email: d-india@apu.ac.jp

インド(中央部・西部・南部)

Ms. Ishana Malkani & Mr. Deeptanshu
Work Loft Court Chambers, 35 New Marine
Lines, Mumbai, India 400020
Tel: +91-98-2187-4565, +91-79-0363-4641
Email: m-india@apu.ac.jp

マレーシア

Ms. Sookfan Ho
C-5-15 Megan Phoenix,
Jalan 2/142A Cheras KM 10,
56100 Kuala Lumpur, Malaysia
Tel: +6012-219-3312
Email: sookfan@apu.ac.jp

Mr. Alex Long
Tel: +60-111-068-0111
Email: alexlong@apu.ac.jp

スリランカ

Dr. Harin Gunawardena
183/1, Nawala Road, Nugegoda, Sri Lanka Tel:
+94-714251314

